
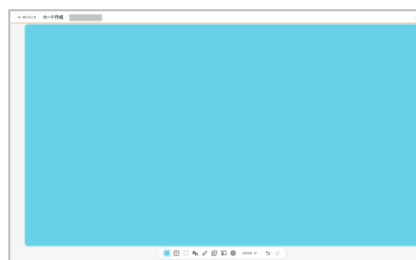




学年	教科等	単元等	活用アプリ
小中	-	意見共有：LIVEモニタリングによる意思表示	オクリンクプラス LIVEモニタリング
授業内容	理由を明確にして意見を述べる 全員の意見を確認しながら話し合いをする		<p>カード</p>  <p>カードを表示した子供の画面イメージ</p>  <p>LIVEモニタリングの画面イメージ： 説得力のある意見やわかりやすい説明の発言があった際、他の子供が意見を変えたことが視覚化されます。</p>  <p>共有コード</p>  <p>共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む</p> <p>pb01K2H9D2RR2V5MYZWN73V3GBS3</p>
準備：	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有コードを使用してカードを取得する。</li> <li>青、赤、黄の3枚のカードを作成し、子供たちのマイボードに送信する。</li> <li>先生用端末の画面を投影する。</li> </ul>		
授業の流れ：	<ol style="list-style-type: none"> <li>話し合いの題目や提案に対し、先生から送られた3枚のカードをそれぞれ[青＝賛成、赤＝反対、黄色＝考え中]とみなし、各自の最初の考えに相当するカードを表示する。先生はLIVEモニタリング機能を表示し、全体で確認する。</li> <li>[青＝賛成][赤＝反対]の両者の意見を伝え合い、話し合い活動をする。</li> <li>友達の意見を聞き、自分の意見が変わった際には表示するカードの色を変更する。意見の変化もLIVEモニタリングの画面で確認しながら話し合い活動をする。</li> <li>話し合いを振り返り、どの意見や説明に説得力があったかを全体で確認する。</li> </ol>		
サポートおすすめポイント	<p>＜活用場面＞ 賛成・反対・考え中 の3択の他、例えば下記の題目で実施することもできます。</p> <p>国語（文学的な文章）「ある場面の登場人物の気持ち」、国語（敬語）「尊敬語か、謙譲語か」、社会歴史（戦国時代）「織田信長、豊臣秀吉、徳川家康のうち全国統一に最も貢献したのは誰か」、社会公民（裁判員裁判）の「有罪か、無罪か」、道徳、お楽しみ会でクラスで何をして遊ぶか、合唱コンクールで歌う曲 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>賛成/反対/考え中のうちどのカードが多かったかだけでなく、賛成/反対の理由を分かりやすく述べる、人の意見を聞いた上で自分の意見を発展させる、などの「過程を大切にしたい話し合い」に結び付けることができます。</li> </ul>		